

日本福祉大学  
スポーツ科学センター一年報  
平成 29 年度版





# 目 次

|                    |              |      |
|--------------------|--------------|------|
| 1. はじめに            | —センター長挨拶—    | p.1  |
| 2. スポーツ科学センターの活動   |              | p.2  |
| 3. スポーツ強化支援政策      |              | p.3  |
| 1)                 | リーダーズキャンプ    | p.3  |
| 2)                 | 主務・マネージャー研修会 | p.6  |
| 3)                 | 体組成測定（6・9月）  | p.10 |
| 4)                 | 各部の活動報告      | p.13 |
| 5)                 | その他（主務会議）    | p.34 |
| 4. みはまスポーツクラブの活動支援 |              | p.35 |
| 5. 水中運動教室          |              | p.38 |
| 6. その他             |              | p.40 |
| 1)                 | 柔道国際大会       | p.41 |
| 2)                 | SALTO 柿落とし   | p.42 |



## 1. はじめに

## ーセンター長あいさつー

### スポーツ科学センター元年の意味をもつこの1年

2017年度は、新しく植田真帆先生、坂口結子先生を迎え、前年度赴任の中尾綾子先生を加えて3名の先生方を擁するセンター組織体制でスタートしました。

センターの事業は、従来の以下の3本柱で取り組み、「1」の強化指定部を中心とする学生の部・サークル支援には坂口先生、中尾先生を中心に、「2」のみはまスポーツクラブの運営には植田先生を中心に、そして「3」の地域貢献事業には全員で当たることとしました。そして、スポーツ科学部から千葉洋平先生にみはまスポーツクラブの企画委員会のとりまとめをお願いし、法人化に向けた取り組みを推進させていただきました。

1. スポーツ系特別強化指定部への活動支援及びスポーツ振興事業
2. みはまスポーツクラブ活動事業
3. 地域住民にスポーツプログラム等を提供する地域貢献事業

成果として、強化指定部支援としては、主務会議を核にした協議・連絡体制が出来上がったこと、Facebookを活用した大会や試合の案内、結果の広報システムを作り上げたこと、部長研修会、主務・マネージャー研修会を実施し、その役割を確認し部間の交流が図れたことなどが挙げられます。みはまスポーツクラブ関連では、教室・サークルが安定的かつ順調に展開し、クラブのホームページを作成し広報活動を拡大し、法人化を一步進め法人化に向けたタイムスケジュールが確認されました。そして、地域貢献活動としては、初めてのセンター主催事業の高齢者向けの水中運動教室が2月に実施され、新設のサルトをスポーツプログラムによって地域住民に活用していただく最初の機会となりました。

センターがどのような機能を果たすことができるのか、手探りながら取り組みでしたが、次年度に向けて手ごたえを受け止めることができた1年でした。

そこで、2018年度は以下のような方針で臨みたいと思っています。

1. 特別強化指定部の目標達成を支え、また部が抱える課題を克服するための講習会・研修会等を主務会議と連携させ、2017年度に構築した体制をより整備する。また、特別強化指定部に求められている地域貢献活動について企画、運営を積極的に支援していく。一方、学生部と連携し、スポーツ系一般サークルを支援するとともに、一般学生に対しては、スポーツ大会を企画するなどスポーツ振興策についても検討する。
2. みはまスポーツクラブの企画内容や運営について積極的に提案し、法人化を前提に各種委員会活動の取り組みを推進し、法人体制づくりに取り組む。
3. 2017年度に実施した水中教室にとどまらず、地域住民への健康・体力づくり、スポーツ振興の企画を学内で実施する。そのために、みはまスポーツクラブの企画内容との調整を図り、さらに美浜町スポーツ推進計画づくりにセンターとして積極的に参画する。

以上、日本福祉大学が地域社会に対してスポーツという文化を活用し貢献する、またスポーツの力を発信するステーションとして、2018年度もスポーツ科学センターの活動を展開していきたいと思っております。

(センター長 吉田文久)

## 2. スポーツ科学センターの活動

### 1) 活動目的

1. スポーツに関する学生教育
2. 課外活動の支援
3. 地域と連携した教育実践活動など、本学の特色を生かした総合的なスポーツ振興に関する諸施策を立案し、事業を推進する

### 2) 事業計画

スポーツに関する学生教育

- ゼミやサークルを基盤とした地域・団体へのスポーツ支援
- スポーツ関係資格取得者（障がい者スポーツ指導員など）へ活動の場の情報提供
- スポーツ推薦入学者への支援
- 学内スポーツ施設整備計画の策定

課外活動の支援

- 特別強化指定サークルの選定
- スポーツ活動の広報：HP・SNS 発信
- リーダー研修の実施
- スポーツイベントの実施

地域と連携した教育実践活動

- 地域スポーツクラブとの連携
- 美浜町スポーツ推進計画の策定支援
- みはまスポーツクラブの法人化支援
- 中高年者や障がい者のスポーツプログラムの開発・イベント実施

# 1. スポーツ強化支援政策

## 1) リーダーズキャンプ

主 旨

- ① リーダーとして必要な知識・教養を身につけること
- ② 他の部活のリーダーと話をすることによって情報や悩み等を共有し、今後、コミュニケーションが  
取れる関係を築くこと

日 時

2017年9月4日(月)9:30集合

対 象

日本福祉大学 強化指定部 A および B における主将またはそれに代わる学生、ただし運動関係の部活のみとする。

参加者一覧

|    | 部活動名         | 参加者氏名 | 役職   | グループ |
|----|--------------|-------|------|------|
| 1  | I部サッカー部      | 太田 征宏 | 副主将  | A    |
| 2  | 硬式野球部        | 鷹羽 信貴 | 主将   | B    |
| 3  | 女子ソフトボール部    | 中島 裕香 | 次期主将 | A    |
|    | 男子ソフトボール部    |       |      | ※欠席  |
| 4  | ラグビー部        | 甲斐 大貴 | 次期幹部 | C    |
| 5  | 女子バスケットボール部  | 鎌田 真央 | 主将   | B    |
| 6  | アーチェリー部      | 今井 愛美 | 主将   | D    |
| 7  | アメリカンフットボール部 | 間瀬 篤史 | 次期幹部 | C    |
| 8  | I部硬式テニス部     | 蓑輪 昇吾 | 主将   | B    |
| 9  | I部卓球部        | 長田 将聖 | 主将   | A    |
| 10 | 男子バスケットボール部  | 青木 輝  | 副主将  | C    |
| 11 | I部バドミントン部    | 星原 将人 | 次期幹部 | B    |
| 12 | 弓道部          | 宮崎 直人 | 次期主将 | D    |
|    | 準硬式野球部       |       |      | ※欠席  |
| 13 | 女子ラクロス部      | 脇坂 麻未 | 主務   | C    |
| 14 | 水泳部          | 中島 拓哉 | 次期幹部 | D    |
| 15 | 男子ラクロス部      | 川末 達郎 | 副主将  | A    |
| 16 | 陸上競技部        | 徳廣 賢司 | 副主将  | D    |
| 17 | NFUゴルフ部      | 中道 太郎 | 主将   | D    |

|     |             |  |
|-----|-------------|--|
| 内 容 | 9:30～       | 開会式および主旨、日程確認                            |
|     | 10:00～12:00 | 勝つためのチームビルディング<br>講師:中京大学スポーツ科学部 助教 草薙健太 |
|     | 12:00～13:30 | 昼食(昼食はこちらで準備いたします。)                      |
|     | 13:30～16:00 | モチベーション DVD 作成@931 教室                    |
|     | 16:00～      | 感想・発表                                    |
|     | 16:30 頃     | 終了                                       |

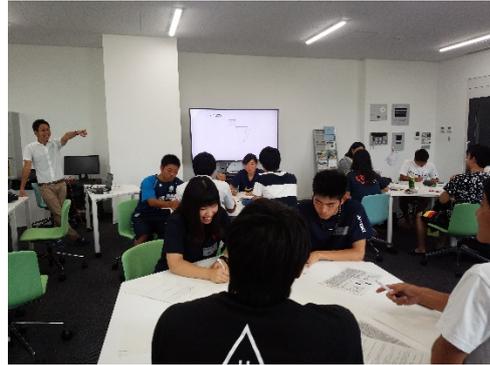
参加した学生の感想（一部抜粋）

**【講演を聞いて】**

- ・チームビルディングというのはイコールチームの仲間とのコミュニケーションが大切であるということを知りました。目標に向けてチームがどういう風にしていけば良いかなど、新チーム体制が始まる前に講演が聴けて良かった。(女子ソフトボール部：主将)
- ・今の部活はチームというよりグループだと思えることができた。改善していかなければいけない点の方が多くあったので、ここで聞いた話を伝えていきたい。(水泳部：次期幹部)
- ・チームワークを形成する上で、大切になってくることの 1 つにミーティングがあるけれど、私の部活はミーティングの中身がまだまだ十分でないと感じました。ミーティングは反省会ではないと分かり、良い部分も出し合い、学年関係なく思ったことを素直に言い合えるミーティングを行っていこうと思いました。(女子バスケットボール部：主将)

**【モチベーションビデオ作成】**

- ・モチベーションビデオは作ったことがなく、どのように作れば良いのか分からなかったのですが、メンバーで話し合い、自分たちのモチベーションが上がるようなビデオ・目標を再確認できるようなビデオを作れたので良かったです。今後機会があれば、自分のビデオを作りたいと思いました。(卓球部：主将)
- ・他の部活の役職の方たちと接することもでき、とても良い制作時間であった。他の部活の状況などもその時に聞け、普段知らないことが鮮明になり、とても新鮮であった。(陸上部：副主将)
- ・写真・言葉・曲の 3 つをうまく組み合わせることが難しいと感じました。その組み合わせを考える中で、曲の歌詞に合う写真・言葉を見つけることができた時には、気持ちが高まりました。自分の制作したビデオと他の班のビデオを比較して、それぞれの班に組み合わせ方や欲の特徴の生かし方みられて、おもしろく、興奮しました。(サッカー部：会計)



写真：リーダーズキャンプの様子

## 総括

今年度、特別強化指定部の支援政策として「リーダーズキャンプ」を実施した。講師に中京大学水泳部コーチ（同大学・助教）をお招きし、自身の経験を交えながら“勝つためのチームビルディング”について貴重な講演をしていただいた。中でも、どん底のチームを立て直すために最初に行ったのは「スリッパを並べること・ごみを拾うこと」と、人間形成を重要視しているという点には、本学の学生にとってもとても影響力があったと感じる。また、コミュニケーションの大切さを話していただき、そのうえでチームミーティングの実践方法やアイスブレイキングの実践というのも取り入れていただいた。午前中の講演が終わるころには、各グループで自然と会話が生まれるようになっていた。さらに、最後の質疑応答の時間では、多くの学生から質問があり、部をよくするために何かを得ようとする姿勢が見られた。スポーツ科学センターとしても多くのことを学ばせていただいた講演であった。

午後のモチベーションビデオ作成では、各々の部が写真を持ち寄り、グループごとに曲を選んで作成をした。多くの学生が、作ることは容易ではなかったが実際のビデオを見ると感動する・頑張ろうと思えるという感想を持った。2時間という短い制作時間の中で、モチベーションビデオ作製の手法を学ぶだけでなく、共同作業を行い他の部活動のメンバーとの多くの会話が合ったことは、このリーダーズキャンプの成果を実感できるものであった。

## 2) 主務・マネージャー研修会

### 主 旨

主務・マネージャーの役割について理解を得るとともに、他の強化指定部との交流・情報交換を行うことで、各部活動の発展につなげる。

### 対 象

特別強化指定部の主務またはマネージャー（各部 1～2 名）

### 日 時

2018年2月21日（水）10:00～16:00

### 場 所

スポーツ科学センター

### プログラム

| 時 間         | 内 容  | 備 考                                   |
|-------------|--|---------------------------------------|
| 9:45        | 集合   |                                       |
| 10:00～11:15 | 強化指定部 B による今年度の活動報告会<br>(今年度の結果・来年度の目標・実施した地域貢献活動・その他)   | 発表時間：各部 3 分程度<br>発表資料：パワーポイント 3～5 ページ |
| 11:30～12:30 | 山本秀人先生による講演<br>「チーム・組織とは？」   |                                       |
| 12:30～13:30 | 昼食・休憩  |                                       |
| 13:30～14:15 | 強化指定部 A による今年度の活動報告会<br>(今年度の結果・来年度の目標・実施した地域貢献活動・その他)   | 発表時間：各部 5 分程度<br>発表資料：パワーポイント 5～7 ページ |
| 14:25～15:45 | 主務・マネージャーの役割とは？<br>①チームビルディング (20 分)<br>②主務・マネージャーの実践報告<br>：女子ソフト部石川さん (25 分)<br>②グループディスカッション・発表 (25 分) |                                       |
| 15:45～16:00 | 写真撮影・解散  |                                       |

参加者一覧

|    | 班 | 部活動名      | 役職    | 名前     | 学部 学年      |
|----|---|-----------|-------|--------|------------|
| 1  | A | サッカー部     | 副主務   | 新村 陽介  | スポーツ科学部 1年 |
| 2  | B | サッカー部     | 副主務   | 中島 佑太  | 子ども発達学部 1年 |
| 3  | C | ラグビー部     | 選手    | 運天 優陽  | 社会福祉学部 1年  |
| 4  | C | ラグビー部     | 選手    | 宮里 渦   | 経済学部 1年    |
| 5  | A | 女子ソフト部    | 主務・マネ | 石川 瑞貴  | 社会福祉学部 3年  |
| 6  | B | 女子ソフト部    | 主務    | 田代 陽子  | 社会福祉学部 2年  |
| 7  | C | 男子ソフト部    | 主務    | 松村 駿   | 社会福祉学部 3年  |
| 8  | D | 男子ソフト部    | 主務    | 佐々木 開斗 | 子ども発達学部 2年 |
| 9  | D | 硬式野球部     | マネ    | 中安 花の  | 社会福祉学部 2年  |
| 10 | A | 硬式野球部     | マネ    | 鎌足 花   | 子ども発達学部 3年 |
| 11 | E | 女子バスケ部    | 主務    | 吉戸 茜衣  | 子ども発達学部 2年 |
| 12 | B | 女子バスケ部    | マネ    | 戸田 里乃  | 子ども発達学部 1年 |
| 13 | E | 水泳部       | 主務    | 亀口 幸代  | 経済学部 3年    |
| 14 | B | 水泳部       | マネ    | 平野 新太郎 | 社会福祉学部 1年  |
| 15 | E | 卓球部       | 主務    | 長谷川 力  | スポーツ科学部 1年 |
| 16 | A | 陸上部       | 主務    | 森重 一真  | 社会福祉学部 2年  |
| 17 | C | アーチェリー部   | 主務    | 板谷 好美  | 社会福祉学部 2年  |
| 18 | D | 女子ラクロス部   | 主務・マネ | 小野 有里奈 | スポーツ科学部 1年 |
| 19 | D | 男子バスケ部    | 主務・マネ | 林 咲希   | 社会福祉学部 3年  |
| 20 | A | 男子バスケ部    | 主務・マネ | 宮田 真希  | 子ども発達学部 1年 |
| 21 | B | 合奏研究会吹奏楽団 | 主務    | 野口 早貴  | 社会福祉学部 3年  |
| 22 | E | 合奏研究会吹奏楽団 | 主務・会計 | 山本 祐梨子 | 子ども発達学部 2年 |
| 23 | C | バドミントン部   | 主務    | 竹房 朋大  | 社会福祉学部 2年  |
| 24 | A | 硬式テニス部    | 主務    | 恒川 幸輝  | 社会福祉学部 2年  |
| 25 | C | 準硬式野球部    | マネ    | 小林 春香  | 経済学部 1年    |
| 26 | E | 準硬式野球部    | マネ    | 金城 舞菜穂 | スポーツ科学部 1年 |
| 27 | B | 弓道部       | 選手    | 三谷 宙   | 社会福祉学部 1年  |
| 28 | C | NFU ゴルフ部  | キャプテン | 芦田 諒太  | スポーツ科学部 1年 |
| 29 | D | NFU ゴルフ部  | 主務    | 本田 美理香 | 社会福祉学部 1年  |
| 30 | D | アメフト部     | 主務    | 薮崎 真鈴  | 子ども発達学部 3年 |
| 31 | E | アメフト部     | マネ    | 大畑 奈波  | 社会福祉学部 2年  |

※欠席：男子ラクロス部

## 参加した学生の感想（一部抜粋）

- ・高校の時にマネージャーの存在の大きさを引退してすごく感じたので、今日の話は自分のためになったと思った。これから主務としてやっていくので、大変だとは思いますが、チームのため自分のために頑張りたい。（サッカー部 副主務 中島佑太）
- ・私はあまり主務やマネージャーの方々との交流がなかったので、今回のような研修会は、情報交換や互いの仕事のコツなどを知ることにつながったので、とても貴重な時間でした。改めて、主務やマネージャーの立ち位置や役割がもっと重要な意味を持つことに気づきました。この会で学んだことをチームに持ち帰り、さらに強いチームとして進化できたら良いと思います。（男子ソフトボール部 主務 佐々本 開斗）
- ・主務・マネージャー研修会に参加させていただいて、普段あまり交流のない部活の主務やマネージャーの方とお話できるとても良い機会だなと思いました。また、山本先生の組織のお話や石川さんのお話を聞いて、主務・マネージャーのやるべきことや役割を確認できたり、学んだりすることができました。マネージャーも主務もやるのは初めてで、分からないことばかりでしたが、今日の研修会で、自分のやるべきことややりたいことが見えたような気がします。（女子ラクロス部 主務 小野 有里奈）
- ・主務の役割が何なのか、再確認できたこともあったし、他の部活の取り組みや主務としてどのような事を行っているのか知ることができてとても良かったです。スポーツの中で文化部は1つだったけれど、共通する部分も多く、吸収することがたくさんある良い研修でした。（合奏研究会吹奏楽団 主務 野口早貴）

## 総括

本学の特別強化指定部の主務・マネージャーを対象に約30名の学生が集まった今回の研修では、「主務・マネージャーの役割について理解を得る・他の強化指定部との交流・情報交換を行う」ことをテーマに行った。月1回行われている主務会議では、お互いに顔を合わせているものの情報交換や意見交換をすることがほとんどない。そのような背景もあり、各部からの活動報告や女子ソフトボール部石川さんから主務活動の実践報告を発表してもらうことで、他の部活動の様子を知り学び合う機会となった。特に、石川さんの実践報告は参加した学生からも好評で、主務としての悩みを共有できたり、考え方を学んだりすることができたという感想が多くあった。

また、山本秀人先生による講演「スポーツ集団の組織論～チーム・組織とは～」では、スポーツ集団の組織について学ぶことができた。各部がどういった集団であるのかを振り返り、今後どのようなスポーツ集団を目指すのかを、考える場となった。

本研修に参加した学生のほとんどが、主務の役割ややりがいを再確認することができ、特別強化指定部の横のつながりも広がったと述べていた。さらに、このような研修会を継続して実施して欲しいという意見が多くあった。スポーツ科学センターしても、次年度につなげていきたい。

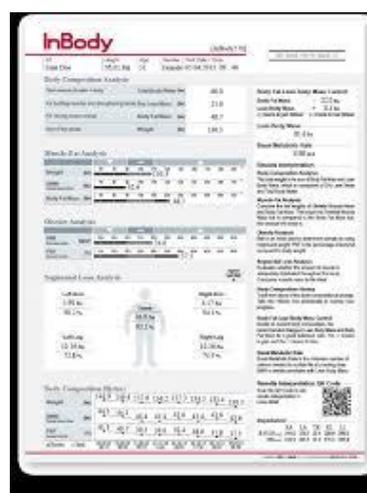
研修会の様子



### 3) 体組成測定 (6・9月)

今年度より、SALTOの生理学実験室に導入されたInBodyを利用し、強化指定部の学生を対象とした体組成の測定を年2回(6月と9月)行った。年間を通して部員の入れ替えがあったり、シーズンの時期が異なったりするため、単純に比較はできなかったが、選手個々のコンディショニング管理の意識を変えるきっかけになっていると感じた。全体の傾向としては、初回と2回目を比較して、男子は体重と筋肉量の増加がみられ、女子は脂肪量(体脂肪率)の減少が見られた。

継続して測定を希望している部が多いため、次年度以降も実施していきたいと考えている。



#### 【測定者数】

##### 男子測定者数

| 部活動名         | 6月         | 9月         |
|--------------|------------|------------|
| 男子バスケット部     | 17         | 14         |
| 水泳部          | 11         | 12         |
| ラグビー部        | 45         | 42         |
| アメフト部        | 23         | 24         |
| 硬式野球部        | 48         | 46         |
| サッカー部        | 34         | 31         |
| 準硬式野球部       | 19         | —          |
| 陸上部          | —          | 6          |
| 男子ソフト部       | 33         | 12         |
| バドミントン部      | 8          | —          |
| 男子ラクロス部      | —          | 22         |
| <b>全体(人)</b> | <b>238</b> | <b>209</b> |

##### 女子測定者数

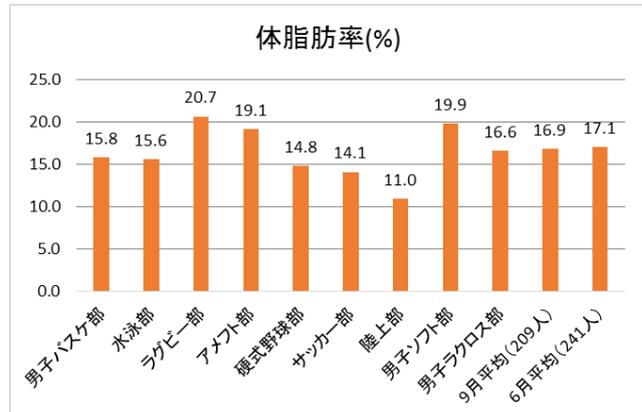
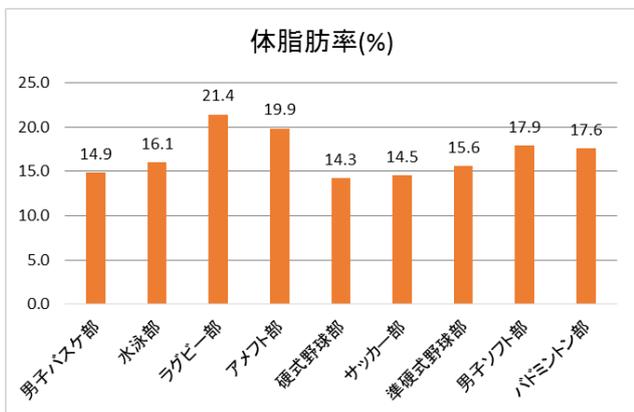
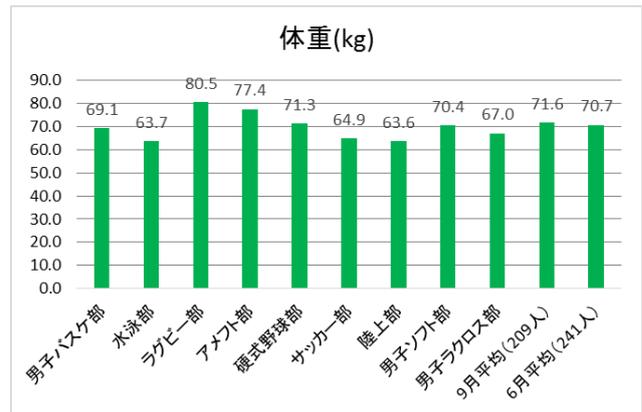
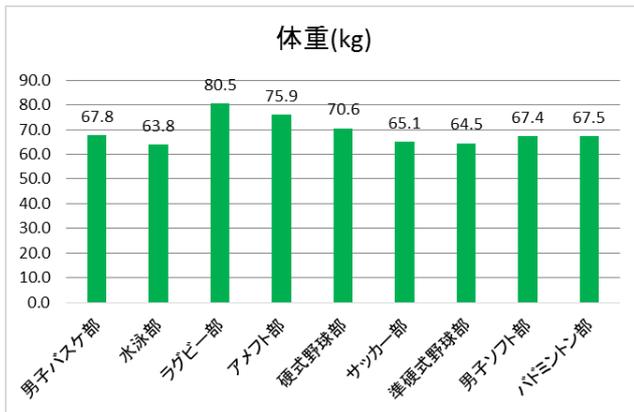
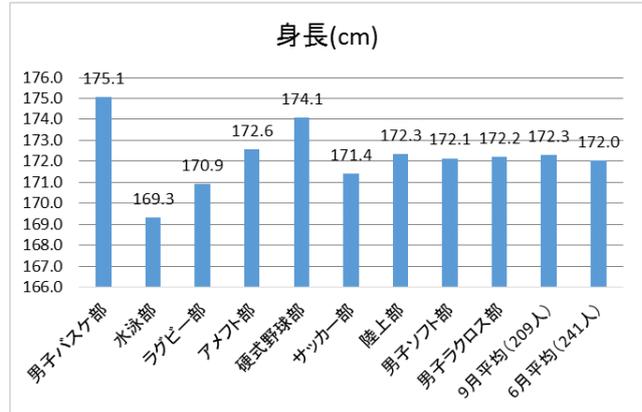
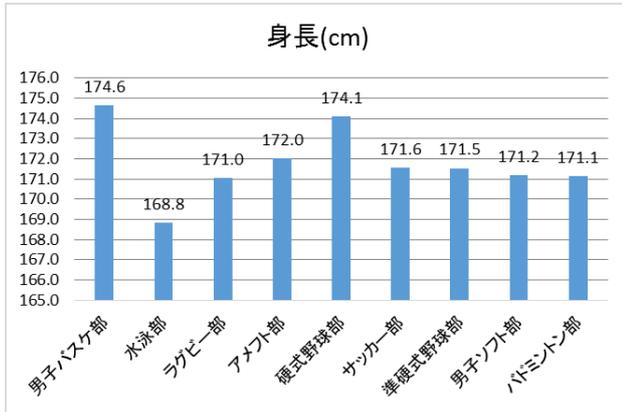
| 部活動名         | 6月        | 9月        |
|--------------|-----------|-----------|
| 女子バスケット部     | 16        | 15        |
| 女子ソフト部       | 28        | 41        |
| 水泳部          | —         | 2         |
| アーチェリー部      | 49        | 4         |
| <b>全体(人)</b> | <b>93</b> | <b>62</b> |

【測定結果】

男子

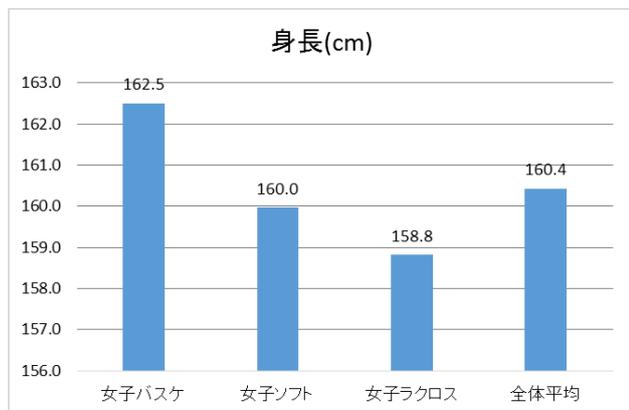
6月

9月

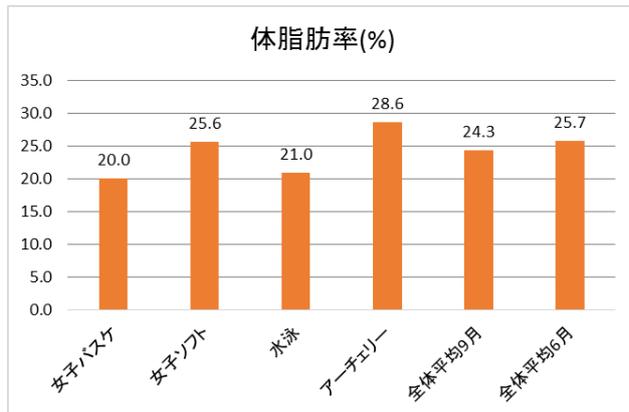
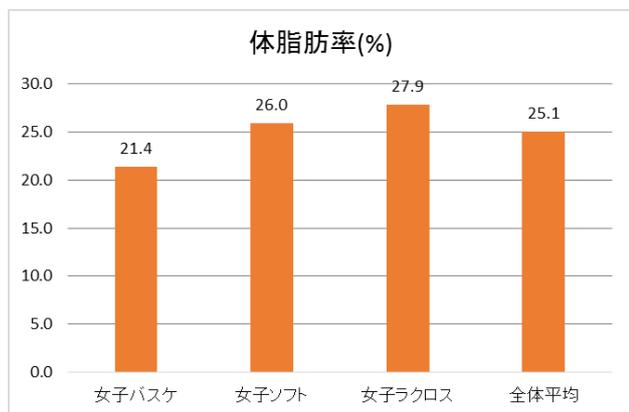
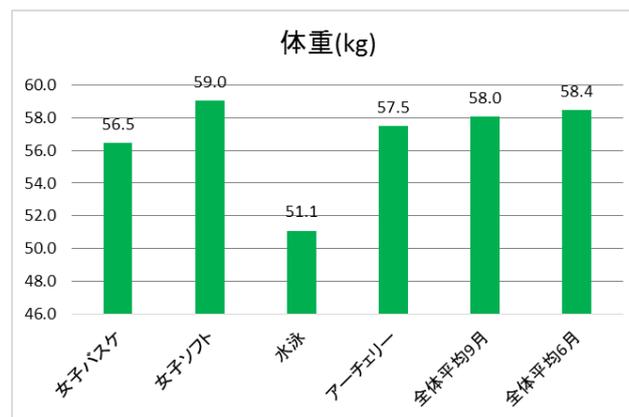
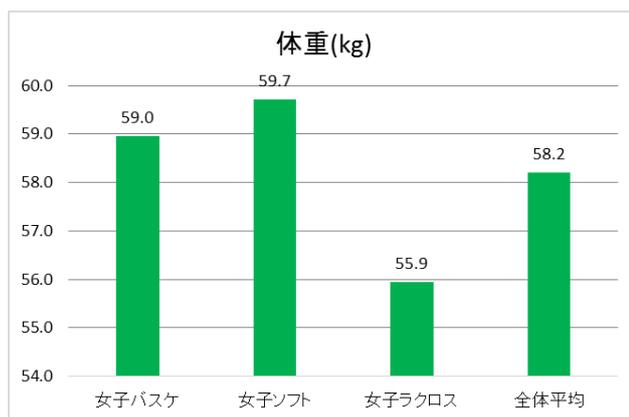
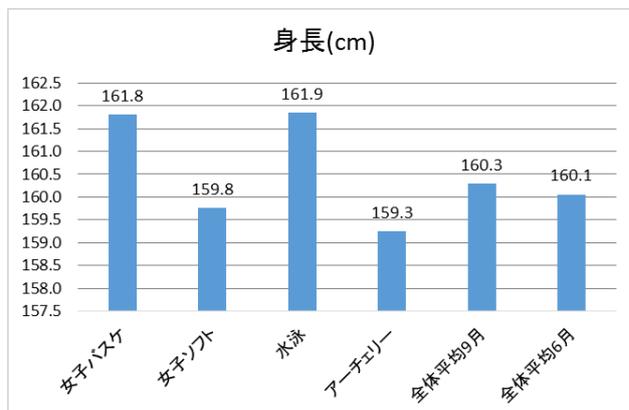


女子

6月



9月



#### 4) 各部の活動報告

今年度の活動報告として、試合結果・地域貢献活動を中心に各部が報告書を作成した。

|    | 部活動名         | ページ |
|----|--------------|-----|
| 1  | サッカー部        | 14  |
| 2  | ラグビー部        | 15  |
| 3  | 硬式野球部        | 16  |
| 4  | 男子ソフトボール部    | 17  |
| 5  | 女子ソフトボール部    | 18  |
| 6  | 女子バスケットボール部  | 19  |
| 7  | 男子バスケットボール部  | 20  |
| 8  | アメリカンフットボール部 | 21  |
| 9  | 陸上競技部        | 22  |
| 10 | 水泳部          | 23  |
| 11 | アーチェリー部      | 24  |
| 12 | 準硬式野球部       | 25  |
| 13 | 男子ラクロス部      | 26  |
| 14 | 女子ラクロス部      | 27  |
| 15 | 弓道部          | 28  |
| 16 | NFU ゴルフ部     | 29  |
| 17 | 卓球部          | 30  |
| 18 | 硬式テニス部       | 31  |
| 19 | 合奏研究会吹奏楽団    | 32  |
| 20 | バドミントン部      | 33  |

※記載は順不同

# 2017年度 1部サッカー部 活動報告

## 今年度の結果

- ・愛知県1部リーグ  
→ 3位
- ・東海学生サッカー選手権県予選  
→ 優勝
- ・東海学生サッカー選手権  
→ ベスト16

1回戦 VS 静岡大学 1-0 ○  
2回戦 VS 愛知学院大学 1-3 ●



(VS 静岡大学戦 試合前)

## 来年度の目標

### 県リーグ優勝・東海リーグ昇格

学生・指導者・スタッフがチーム目標を共有し、目標達成に向けて一人ひとりがチームに貢献すべき役割を認識し、結果を追求し続けるチーム作りを目指す。その上で、県1部リーグを優勝・東海リーグ参入戦勝利し東海リーグ昇格を目指す。

また、知多半島にある大学、サッカーチームとしての誇りを大切にするために少年サッカー教室や大会を開くなどによる地域貢献活動や将来的な指導者育成のために JFA 公認の審判員4級は全員取得、3級は10名以上を目標に取り組んでいきたい。

## 実施した貢献活動

- ・少年サッカー大会 (2月)
- ・少年サッカー教室 (4~11月)
- ・美浜町小学校体育大会審判派遣 (8月)
- ・サカママフェスタ in 愛知運営協力 (11月)
- ・知多キッズサッカーフェスティバル (12月)

少年サッカー教室を通して指導することの難しさや子供たちの成長を見ることができ、基礎となる部分の見直しなど多くのことを学び経験することができた。

また、少年サッカー大会では指導していたチームをはじめ、静岡県や岐阜県からも参加し全10チームによる大会を開くことができた。

# 2017年度 ラグビー部 活動報告

## •2017年度の結果

東海学生 A2リーグ 5戦 4勝 1敗 A2リーグ1位→A1リーグ昇格  
全国地区対抗大会出場決定トーナメント 2戦 2敗

## •地域貢献活動

高校生とラグビー練習

全国高等学校ラグビーフットボール大会愛知県大会を控えた高校生と練習を行い、新たなことを吸収させてもらおうと共に、愛知県でのラグビーというスポーツの更なる普及を目指し、交流を深めさせていただきました。

## •来年度の目標

A1リーグ 3勝！ A1リーグ残留！

今年は東海学生 A2リーグにおいて1位という順位になりました。自信に繋がる結果や内容を多く得ることができましたが、まだまだチームで強化しなければいけないことや、改善しなければならないことが見つかりました。A1リーグに昇格し、周りのレベルは今までより高くなりますが、一日一日の練習を大切にして、A1リーグで3勝することを目標として、A1リーグに残留して高いレベルで闘い続けていきたいです。



## 2017 年度 公式戦結果

### ▶ 平成 29 年度 愛知大学野球 春季リーグ戦

- ・名古屋商科大学 5-2● 8-5○
- ・名古屋経済大学 5-2● 8-2●
- ・愛知工業大学 9-3● 4-3○
- ・名古屋産業大学 13-9○ 9-0○
- ・東海学園大学 5-0● 4-3●

＜チーム成績＞ 2部Bリーグ 4位 (4勝6敗)

### ▶ 平成 29 年度 愛知大学野球 秋季リーグ戦

- ・同朋大学 9-6○ 7-0○
- ・名古屋大学 7-3○ 6-2○
- ・名古屋商科大学 8-4● 7-2●
- ・愛知学泉大学 6-2○ 6-4○

2部Aリーグ 1位決定戦 名古屋商科大学 4-1●

＜チーム成績＞ 2部Aリーグ 2位 (8勝2敗)

＜個人成績＞2部Aリーグ首位打者 伊藤竜之介 (1年)



## 2017 年度 地域貢献活動

毎冬トレーニングのため利用している内海海水浴場のゴミ拾いを行いました。  
また、大学内のゴミ拾いも定期的に行っています。

## 2018 年度 目標

# “1部昇格”

昨季はあと少しのところまで力及ばず、悔しさの残る結果となりました。

今春こそ悲願の1部復帰を目指し、「一致団結」して戦います。



## 2017年度 男子ソフトボール部 活動報告

平成 29 年度春季東海地区大学男子 I 部ソフトボールリーグ戦 **優勝**

文部科学大臣杯第 52 回全日本大学男子ソフトボール選手権大会 **ベスト 8**

平成 29 年度秋季東海地区大学男子 I 部ソフトボールリーグ戦 **3 位**

## 頂上は見えた、今こそ決戦の時。

今年度のインカレでは、ベスト 8 という成績であり、惜しくも全国の頂を目の前にして敗れてしまいました。しかし、一部昇格という目標から活動を続けてきた男子ソフトボール部にとって、頂上がはっきりと見えた瞬間でした。来年度は 全国制覇を目標としてチームの力を再び結集し、強豪大学に挑みたいと思います。



地域貢献活動のひとつとして行った、小野浦海岸清掃の様子。思っていたよりもゴミの量が多い印象でした。私たちの活動を支えていただいている地域の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、こうした活動を続けていきたいと考えています。

## 2017年度 女子ソフトボール部 活動報告

### ●17年度大会結果●

- ・東海地区春季リーグ 1部第3位
- ・第49回西日本インカレ(宮崎県) 2回戦進出
- ・第52回全日本インカレ(広島県) 出場
- ・東海地区秋季リーグ 1部第5位

### チームスローガン

# ALL OUT !

日々の練習、1戦1戦での試合において、全力を出し切ることを「ALL OUT」をチームスローガンとして掲げ、18年度東海地区にて

**リーグ優勝**

を目標として活動を行っています。

### ●17年度地域貢献活動●



### “運”(ごみ)拾い

私たちは、清掃活動のことを“運”拾いとよんでいます。練習前後にグラウンドや海岸にて清掃活動を行っており日々、感謝の気持ちを忘れないよう、チーム全員で行っています！！

### ●18年度目標●

・東海地区リーグ優勝

・インカレ優勝

18年度は部員52名で活動していきます。部員一人一人がリーグ優勝・インカレ優勝に向けて、目的意識をもち、部員数の多さを武器に笑顔で目標が達成できるよう、日々の練習に意識高く、励んでまいります。

これからも女子ソフトボール部に、暖かいご声援のほど、よろしくお願いいたします。



# 2017年度 女子バスケットボール部 活動報告

## 1. 17年度 大会結果

第55回東海学生バスケットボール大会 ベスト16

第66回西日本学生バスケットボール選手権大会 2回戦敗退

第88回東海学生バスケットボール リーグ戦 東海リーグ 3部1位

## 2. 17年度 地域貢献活動

- ・小・中学生対象クリニックの開催

成岩スポーツクラブとの合同練習を行った。中尾先生の指導の下、大学生が小・中学生にポイントを伝えながら活動をしていた。また、成岩スポーツクラブの指導者の方にご指導いただき、ドリブルなどの技術アップにつながった。教えるだけでなくたくさんのお話を学んだクリニックとなった。



- ・高校生との交流戦

多くの高校を招待し、交流戦を行った。東海地区のチームを中心に参加して頂き、より多くの試合をすることができた。自チームにとってもよい刺激となった。



- ・美浜タウンマラソンへの参加

1月21日に開催された、第32回美浜タウンマラソンへ参加した。女子バスケット部は一般・2部の6.7kmへ参加し、全員が完走することができた。そのうち、2名(坂本優奈・星加珠希)は入賞し、表彰された。体力づくりの一環として参加したマラソン大会であったが、地域の方々に「参加してくれてありがとう」と声を掛けられ、選手達も達成感を感じた。



## 3. 18年度 目標

「3部全勝・2部昇格」

今年度は三部降格という悔しい結果となってしまった。このことを選手一同重く受け止め、来年度は三部で全勝した上で2部への昇格を目指している。そのために、大会にない時季から練習に励み、体づくりや体力アップを図っている。今後も選手一人一人が意識を高く持ち、目標を達成できるよう練習に励んでいく。

## 2017年度 男子バスケットボール部 活動報告

### ☆17年度の大会結果☆

- ・第55回東海学生バスケットボール大会  
岐阜大学 VS 日本福祉大学 81-72●
- ・第88回東海学生バスケットボールリーグ戦  
東海リーグ 3部リーグ Dブロック4位

大きな大会はこの二つです。

この他にも、6月に行われる西日本学生バスケットボール大会や、12月に行われる交歓大会にも参加しました。



### ☆17年度の地域貢献活動☆

- ・クリニック(小中学生対象)
- ・クリーンキャンパスキャンペーン
- ・大学祭(模擬店出店)



クリニックでは、小中学生に教えながら部員たちも一緒にバスケットを楽しむことができていました。今年度は活動数がまだまだ少なかったのですが、来年度はもっと多くの活動に取り組んでいきたいと思っています。

### ☆18年度目標☆

## 2部リーグ昇格

この目標を達成するために、今の練習に加え、外練でランメニューを増やし、ウエイトの時間も増やすようにしてきました。今年度は達成できませんでしたが、来年度は達成できるように、チーム一丸となり達成していきます。



**応援よろしくお願ひします!!**

# 2017年度 アメリカンフットボール部 WINGS 活動報告

## 17 年年度大会成績

- 〔2部Bリーグ 4勝0敗 優勝〕
- ・日本福祉大学 VS 静岡大学 48-0 ○
- ・日本福祉大学 VS 東海大学海洋学部 45-0 ○
- ・日本福祉大学 VS 名古屋学院大学 14-0 ○
- ・日本福祉大学 VS 名古屋商科大学 10-9 ○
- 〔入れ替え戦 勝利 2部Aリーグ 昇格〕
- ・日本福祉大学 VS 愛知学院大学 17-14 ○



## 17 年度地域貢献活動

- ・奥田一野間待望間道路沿線における清掃活動  
(学校から野間大坊までの道のり)
- ・クリーンキャンパスキャンペーンへの参加  
(キャンパス内の清掃活動)
- ・知多半島内におけるスポーツ普及広報活動  
(東海学生アメリカンフットボール連盟ポスター配布、  
活動成果の SNS 配信)
- ・クリーンアップアクションへの参加  
(東海連盟アメリカンフットボール連盟主催  
競技場の清掃活動)



## 18 年度目標

- ・1部リーグ 昇格

## スローガン

「改革」



## 2017年度 陸上競技部 活動報告

これから陸上競技部の2017年度の大会結果、2017年度の地域貢献活動、2018年度の目標について報告します。

2017年度の大会結果については、第28回日本パラ陸上競技選手権大会で高辻まさやが800mで大会新記録を出したこと、高橋峻也がやり投げに出場、さらには、ジャパンパラ陸上競技大会やドバイ2017アジアユースパラ競技大会で高橋峻也がやり投げに出場、愛知選手権大会では榊原章人がやり投げに出場など大きな大会に出場した選手がいました。その他にもいろんな大会で自己ベストを出している部員もいる。

2017年度の地域貢献活動については、9月中旬から2月末の毎週月曜日17時30分から18時30分に美浜町のジュニアスプリントを行ったこと、12月16日に中日こどもウィークリー「[まなぼう♡のトントン拍子!] 速く走るトレーニング」という記事にも掲載されたことである。

美浜町のジュニアスプリントとは、みはまスポーツクラブに所属している小学校低学年から小学校高学年の子ども達に陸上の楽しさや速く走れるための指導を行いました。

中日こどもウィークリー「[まなぼう♡のトントン拍子!] 速く走るトレーニング」という記事については、子ども達に足が速く走れるための姿勢や筋肉強化の説明を記載したという活動も行いました。

2018年度の目標については、東海インカレ決勝進出と西日本インカレ・全日本インカレ出場、強化指定Aに昇格すること、パラの部ではアジア選手権で高橋が日本代表として出場を目指して、各自で練習メニューを考えてこれらの目標を達成するために頑張っています。

以上で、陸上競技部の2017年度の大会結果、2017年度の地域貢献活動、2018年度の目標などの報告書であります。



# 2017年度 水泳部 活動報告

## 17年度の結果

### 競泳部門

- ・2017 中部学生選手権水泳競技大会 男女出場
- ・2017 ジャパンパラ水泳競技大会 400Mフリー1位、100Mフリー2位、50Mフリー3位
- ・2017 日本障がい者水泳選手権出場 100Mフリー優勝、50Mフリー2位

### トライアスロン部門

(男子)

- ・2017 ITU 世界トライアスロンシリーズ 横浜大会 スタンダード(エイジ) 総合8位(年代別優勝)
- ・2017 日本トライアスロン連合東海ブロック選手権大会 3位入賞(日本選手権出場決定)
- ・2017 東海・北陸学生選手権 2位(日本学生選手権出場決定)
- ・2017 日本学生トライアスロン選手権 個人男子 46位
- ・2017 日本トライアスロン選手権出場



(女子)

- ・2017 北陸・中部学生選手権 個人女子 2位
- ・2017 長良川国際トライアスロン大会 女子総合 3位
- ・2017 日本トライアスロン連合東海ブロック選手権大会 3位入賞(日本選手権出場決定)
- ・2017 Gamagori NTT ASTC Sprint Triathlon Asian Cup 11位
- ・ASTC トライアスロンアジア選手権(2017/パレンバン) 3位
- ・2017 日本学生トライアスロン選手権 女子個人 6位入賞
- ・2017 ITU 世界選手権 ITU 世界トライアスロングランドファイナル (2017/ロッテルダム) 41位
- ・NTT ASTC トライアスロンアジアカップ(2017/村上) 12位
- ・2017 日本トライアスロン選手権出場

## 地域貢献活動



水泳教室(水泳部主催イベント)

- ・日時 2017/12/16(土) 11:00~13:00
- ・場所 美浜キャンパス SALTO プール
- ・対象 中学生以上
- ・参加人数 20人
- ・内容 3つのコース(初心者・中級者・上級者)を設定し、水泳の競技力向上や基礎体力向上を目指す!!

## 18年度の目標

### 競泳部門

- ☆中部学生選手権水泳競技大会  
男女出場・入賞
- ☆ジャパンパラ・日本選手権  
(金5以上)
- ☆ワールドパラスイム参戦

### トライアスロン部門

- ☆日本学生トライアスロン選手権  
男女出場・団体入賞
- ☆日本トライアスロン選手権  
男女出場

# 2017年度 アーチェリー部 活動報告

## 〈2017年度の大会結果〉

- 第28回 全日本学生アーチェリー 東日本大会出場
- 2017年度 東海学生アーチェリー 個人選手権大会 女子個人優勝
- 第56回 全日本学生アーチェリー 個人選手権大会 出場
- 2017年度 東海学生アーチェリー 新人選手権大会 経験者部門 男子個人優勝



## 〈2017年度の地域貢献活動〉

- OB・OG会でのアーチェリー体験会の実施

→アーチェリー部では毎年一回 OB・OG 会を開いています。そこで OB・OG の方の家族の方にアーチェリーを体験してもらっています！この活動は、まだまだ日本に広がっていないアーチェリーを広めることと同時に、教える私たちもアーチェリーの楽しさを改めて感じることができています。



## 〈2018年度の目標〉

主な大会名として・・・

⇒全日本学生アーチェリー王座決定戦 出場

⇒全日本学生アーチェリー個人選手権大会 出場

その他全国大会出場を目標に日々練習しています！



# 2017 年度 準硬式野球部 活動報告



## 17 年度大会結果

東海地区大学準硬式野球選手権大会 / 準優勝

全日本大会代表決定戦 / ベスト 4 清瀬杯出場決定

清瀬杯第 49 回全日本大学選抜準硬式野球大会 / vs 横浜国立大学(●7-8)

平成 29 年度東海地区大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦 / 3 部同率 1 位 再試合敗北(3 部残留)

## 17 年度地域貢献活動

クリーンキャンパスキャンペーン

※17 年度はあまり活動を行うことができなかったため、18 年度は積極的に活動していきたいと思います。

## 18 年度目標

春と秋に行われるリーグ戦で勝利を重ね、2 部昇格を目指します。秋のリーグでは新体制になっているのでより上のチームになれるよう頑張っていきます。

さらに、現在 2 年連続で全国大会に出場しているので、3 年連続で出場を目指します。ここでの戦いは決して簡単なものではないので、日々の練習から意識していこうと思います。

また、選手同士のコミュニケーションはもちろん大切ですが、選手とマネージャーの連携を上手く取り、チーム力の向上へ繋げていきたいと思っています。昨年度、あまり実施出来なかった地域貢献活動を行うことで、地域の方々との交流を深めていきたいと思っています。



## 2017 年度 男子ラクロス部 活動報告

- 2017 年度 大会結果

- 東海学生 ラクロスリーグ 2 部リーグ 6 位

- 2017 年度地域貢献活動

- 奥田海岸のゴミ拾い
- 献血キャンペーンへの参加



- 2018 年度目標

私たち男子ラクロス部は、今シーズン「向上心」をスローガンに、一部昇格へと向けて日々練習に励んでいます。

この「向上心」という目標は、「一部昇格を達成するためには何が必要か」を話し合い、今までと異なることをやろう、初心に戻り意識を高く持とう、という意味合いがあり、多くの意見が飛び交う中、部員皆で決めました。一部昇格という目標は、ここ近年で毎年上がっている目標であり、同時に果たせないままの課題でもあります。毎年「一部昇格」を掲げているのにも関わらず、結果が残せないことに対して、私たちは悔しい思いをしてきました。「あの時代は良かったのにね」などとはもう言われたくありません。昨年度の反省を元に、何を改善したら結果に繋がるのかを考え活動をしています。

昨年度と異なる活動は大きく3つあります。1つめはOB・OGさんとの関わる機会が増え、より質の高い練習が出来るようになったこと。知識を与え、戦術指導して下さる方の存在は、確実に技術の向上へと繋がっているとと言えます。2つめはユニフォームのデザインを変えたこと(画像右)。小さなことですが、心機一転、切り替えるきっかけとなりました。3つめは他大学や社会人チームとの合同練習や試合を多く組み込んでいること。他チームと関わることは、刺激を受けると同時に、自信をつけ、力量を試すための経験を積む場となっています。

まだまだ課題は多いチームですが、一人ひとりが課題と向き合い、克服のために取り組むことを決め、目標を持って日々精進しています。



# 2017年度 女子ラクロス部 活動報告

## ● 2017年度の大会結果

東海ラクロス学生リーグ 2部 8位



## ● 2018年度の目標

リーグ目標 **「入れ替え戦出場」**



昨年度も今年度も「1部昇格」という目標を立ててきたが達成できなかったこと、新4年生と新3年生が入れ替え戦を経験しているということから、部員全員の目標に対する意識統一を図るため、見えやすい目標にした。

チーム目標 **「這い上がれ」**



2部8位から「這い上がって」入れ替え戦までいく！という強い思いが込められている。

## 目標を達成するために・・・

- ◇ 入れ替え戦までのリーグ試合を勝ちきる
- ◇ 以下の3つのことを頭に入れて、全員でチームを作る



### ① 礼儀のあるチーム

あいさつや報告・連絡・相談(ホウレンソウ)の徹底

### ② 雰囲気の良いチーム

ポジティブな言葉がけを心掛け、雰囲気を悪くするような態度をとらない  
綿密なコミュニケーション

### ③ 力のあるチーム

積極的に他の大学との練習試合を組み、経験値を増やして試合に慣れる。



# 2017 年度 弓道部 活動報告

## ◎2017 年の成績結果

- ・第 60 回東海学生弓道選手権大会 団体男女共にベスト 16
- ・第 51 回愛知県下学生弓道大会 団体男子 B チームベスト 8
- ・第 65 回全日本学生弓道選手権大会 団体男女共に予選敗退
- ・第 52 回中日本弓道近の選手権大会 団体男女共に予選敗退
- ・第 54 回東海学生弓道新人戦 女子団体予選敗退
- ・第 61 回東海学生弓道秋季リーグ戦 男子Ⅲ部

| 第61回東海学生弓道秋季リーグ戦 男子Ⅲ部 |          |          |          |         |         |   |   |
|-----------------------|----------|----------|----------|---------|---------|---|---|
| 男子Ⅲ部                  | 愛知大学     | 中部学院大学   | 日本福祉大学   | 愛知淑徳大学  | 愛知教育大学  | 勝 | 負 |
| 愛知大学                  |          | 102 ○ 84 | 101 ○ 55 | 94 ○ 80 | 83 ○ 56 | 4 | 0 |
| 中部学院大学                | 84 ● 102 |          | 86 ○ 67  | 89 ○ 82 | 80 ○ 58 | 3 | 1 |
| 日本福祉大学                | 55 ● 101 | 67 ● 86  |          | 40 ● 84 | 56 ● 73 | 0 | 4 |
| 愛知淑徳大学                | 80 ● 94  | 82 ● 89  | 84 ○ 40  |         | 90 ○ 57 | 2 | 2 |
| 愛知教育大学                | 56 ● 83  | 58 ● 80  | 73 ○ 56  | 57 ● 90 |         | 1 | 3 |

- ・第 61 回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子Ⅳ部 B ブロック

| 第61回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子Ⅳ部Bブロック |         |         |         |         |         |   |   |
|----------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---|---|
| 女子Ⅳ部B                      | 名古屋女子大学 | 名城大学    | 静岡県立大学  | 日本福祉大学  | 名古屋学芸大学 | 勝 | 負 |
| 名古屋女子大学                    |         | 33 ○ 26 | 23 ○ 20 | 40 ○ 25 | 30 ○ 29 | 4 | 0 |
| 名城大学                       | 26 ● 33 |         | 36 ○ 27 | 30 ○ 28 | 39 ○ 22 | 3 | 1 |
| 静岡県立大学                     | 20 ● 23 | 27 ● 36 |         | 10 ● 23 | 29 ● 34 | 0 | 4 |
| 日本福祉大学                     | 25 ● 40 | 28 ● 30 | 23 ○ 10 |         | 26 ○ 26 | 2 | 2 |
| 名古屋学芸大学                    | 29 ● 30 | 22 ● 39 | 34 ○ 29 | 26 ● 26 |         | 1 | 3 |
| 同中競射の結果 ○日本福祉大学4-2名古屋学芸大学● |         |         |         |         |         |   |   |

## ◎2017 年度の地域貢献活動

- 第 19 回ゆめたろうスマイルマラソンのスタッフボランティア

## ◎2018 年度の目標

来年度の目標は、東海ベスト 8 と男女共にリーグⅢ部昇格です。東海大会は、5 月にあり、来年度最初の大会なので、まずは目の前の東海大会に向けて日々練習し、目標であるベスト 8 を目指します。また、今年度の秋のリーグ戦では、男子はⅢ部からⅣ部に降格してしまったので来年度のリーグ戦では戻れるようⅢ部に昇格したいと思います。女子は、Ⅳ部にとどまっているので来年こそはⅢ部昇格を目指します。他にも多くの大会や試合があるのでひとつひとつの試合を大切に、毎回明確な目標を立てて日々練習に励んでいきたいと思ひます。

## 2017年度 ゴルフ部 活動報告

### ○出場大会(個人：芦田諒太)

- ・ 4月定例会
- ・ 6月定例会
- ・ 10月定例会
- ・ 6月の定例会により第47回中部学生ゴルフ選手権競技に出場
- ・ 10月の定例会により会長杯中部学生ゴルフ選手権競技に出場
- ・ 第21回愛知県学生ゴルフ選手権競技

### ○主な大会結果(個人：芦田諒太)

- ・ 第47回中部学生ゴルフ選手権競技 50位(90人中)  
スコア 第1日：85 第2日：76 計161
- ・ 10月定例会 12位(55人中)  
スコア 80



### ○地域貢献活動

- ・ スナッグゴルフ運営支援(みはまスポーツクラブ)  
新南愛知カントリークラブで前期と後期各8回行われる。(今年度は後期のみの参加。)  
講師の太田プロのアシスト。参加者とのコミュニケーション。
- ・ ゴルフ場でのキャディ業務
- ・ クリーンキャンパスキャンペーン

### ○2018年度の目標

#### ①ゴルフ競技

- ・ 個人 男子：中部トップ10 女子：大会参加
- ・ 技術向上のためのラウンドデータ取得による分析・研究へ

#### ②地域貢献活動

- ・ スナッグゴルフ運営支援→指導のアシスタントから部員主体の指導へ、回数の増加
- ・ キャディ業務→人数の増加
- ・ クリーンキャンパスキャンペーン→継続



**将来的に、知多半島地域の人々がゴルフに触れる機会を増やすことへの貢献を目指す！**

# 2017年度卓球部活動報告

## 1. 2017年の結果

### 東海卓球選手権大会

- 男子第二部 優勝
- 男子一部昇格（入れ替え戦 vs 愛知大学 勝利）
- 女子第二部 二位

### 東海卓球選手権大会

- 男子二名、女子四名 出場

### 東海学生卓球秋期リーグ戦

- 男子第一部 六位
- 男子二部降格（入れ替え戦 VS 三重大学 敗北）
- 女子第二部 二位

## 2. 2018年の目標

### 男女共に

- 春期リーグ戦 優勝&一部昇格(まずは二部リーグで優勝し、息を冒がついた状態で入れ替え戦に臨めるようにする)
- 秋季リーグ戦 一部残留

全日本大学総合卓球選手権大会 出場（チームとしてだけでなく個人個人の活躍も目指していく）

## 3. 2017年に実施した地域貢献活動

定期的に美浜町の小、中学生、年配の方を対象に卓球の技術指導を行った。（多くの参加者が集まった）

地域が主催する大会に積極的に参加した。（美浜町民大会）

## 2017年度 I部硬式テニス部 活動報告

### ・17年度 大会結果

#### 団体

男子 東海リーグ 2部 4位

女子 東海リーグ 2部 3位

#### 個人

東海春期テニストーナメント

女子ダブルス 長岡純未 ベスト8



### ・17年度地域貢献活動

地域のテニススクールの子どもたちの相手をする

大会の審判要請への審判の派遣

クリーンキャンパスキャンペーンへの参加



### ・来年度の目標

男子、女子ともにもっと上をめざし、共に1部の昇格するとともに、地域への貢献や、学校内での慈善活動なども積極的にやっていける部にしていけると良いと思います。



## 2017年度 合奏研究会吹奏楽団 試合結果

### ◆ 2017年度大会結果

目標 「夏の大会で県大会上位の成績」

結果 2017年08月06日

全日本吹奏楽コンクール愛知県大会 大学の部 銀賞

2018年01月14日

愛知県アンサンブルコンテスト 大学の部

- ・フルート三重奏 銀賞
- ・クラリネット四重奏 銀賞
- ・バリチューバ四重奏 金賞



### ◆ 2017年度地域貢献活動

- ・日本福祉大学入学式 式典演奏
- ・成岩児童センター 訪問演奏
- ・美浜町商工会青年部 MIHAMA F-es (みはまフェス) 訪問演奏、ボランティア
- ・南部子育て支援センター 訪問演奏
- ・美浜町文化振興事業 まちの音楽会 演奏
- ・半田児童センター 訪問演奏
- ・第37回定期演奏会
- ・日本福祉大学学位記授与式 式典演奏



### ◆ 2018年度目標

「心に響く音楽を」

今後は、付属高校と連携を深めていくことも考えている。高校生に教える経験を通して、団員も基礎から見つめなおし、目標に向けて日々練習に取り組んでいきたい。

また、強化指定部として活動させていただいていることを忘れず、今後も地域での訪問演奏やイベント出演、定期演奏会、式典演奏など、様々な場面で活動していきたい。

# 2017年度 バドミントン部 活動報告

## ☆2017年度主な大会結果

<団体戦>

- ・東海大学選手権大会（春季リーグ）  
【女子】1部リーグ 準優勝  
【男子】1部リーグ 第5位（2部リーグ降格）
- ・東海大学選手権大会（秋季リーグ）  
【女子】1部リーグ 第3位  
【男子】2部リーグ 全勝優勝（1部リーグ昇格）

※男子は5部リーグ、女子は4部リーグまで有り。

<個人戦>

- ・東海学生新人選手権大会  
【女子ダブルス】ベスト4：島倉美穂・高田靖子組  
【男子シングルス】優勝：安藤拓実、3位：福原聡  
【男子ダブルス】第3位：安藤拓実・福原聡組
- ・愛知学生選手権大会  
【女子シングルス】準優勝：門馬桃香  
【男子シングルス】第3位：福原聡



## ☆主な地域貢献活動

- ・パラバドミントン体験会開催  
(世界選手権・世界大会のメダリストらとともに)
- ・合同練習会を複数回開催  
(長野県・京都府・大阪府・兵庫県からも参加)
- ・東海障害者バドミントン選手権大会への出場
- ・美浜町民バドミントン大会参加 (選手及び役員)



## ☆2018年度目標

男女ともに、東海大学選手権大会1部リーグ優勝！  
さらに、全日本学生選手権大会出場・勝利！

★ご声援をよろしくお願いたします★



## 5) その他（主務会議）

### 目的

強化指定部（A、B）との日常的な情報交換の場とする。

### 主な内容

日常的な活動内容を中心に聞き取り、報告を行う。

- ・部の活動スケジュールの確認（試合、練習、部への出欠席状況）
- ・施設借用計画の提出
- ・予算管理
- ・その他（サークルオープンキャンパス準備など）

### 主務会議メンバー

- ・スポーツ・文化政策担当事務長およびスポーツ・文化政策担当者
- ・各強化指定部活動主務

### 日程

|      |                |        |            |
|------|----------------|--------|------------|
| 第1回  | 2017年4月13日（木）  | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第2回  | 2017年5月18日（木）  | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第3回  | 2017年6月15日（木）  | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第4回  | 2017年7月13日（木）  | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第5回  | 2017年9月14日（木）  | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第6回  | 2017年10月12日（木） | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第7回  | 2017年11月16日（木） | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第8回  | 2017年12月14日（木） | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第9回  | 2018年1月18日（木）  | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第10回 | 2018年2月15日（木）  | 12:40～ | スポーツ科学センター |
| 第11回 | 2018年3月16日（木）  | 12:40～ | スポーツ科学センター |

### 主務会議での活動報告会の様子



## 4. みはまスポーツクラブの活動支援

みはまスポーツクラブは、美浜町と日本福祉大学の連携事業として2年間の準備期間を経て2012年9月に設立されました。設立後5年が経過し、2017年度には年間を通じて26のプログラムを約425回実施し、参加者数も年間延べ7,500人を超える規模にまで拡がり、現在、法人化に向けた準備活動に取り組んでいます。

2017年度の主な活動支援として、以下の4点が挙げられます。

### 1) クラブの理念とビジョンの見直し

2016年度に行った美浜町や町内のスポーツ環境に関する課題、クラブの現状分析を元に、クラブの理念を「集う人々が共にスポーツ・文化を楽しみ、幸せを感じられる町、みはまを創る」とし、ビジョンとして「①人と人がつながりを持ち、支え合うまちづくり②子どもからシニアまで、健康で生きがいのある生活と場の提供③スポーツツーリズムを活用した観光の活性化④トップアスリートを育成できる環境の実現」と見直しました。

### 2) 組織体制の整備

組織運営の要ともいえる事務局が、より機能的に動くことができるようスポーツ科学センターがコーディネイト役となり、美浜町と大学をつなぐ役割を担うことを目標に掲げ、町民の皆さんとの丁寧な話し合いを重ね、活動してきました。2018年度も引き続き、組織体制の整備に務めます。

### 3) 広報活動の充実

2017年度、クラブの大きな目標であった広報活動については、新しいホームページの作成、Facebookの更新、各種イベント（大学祭、産業祭り）での広報ブースの設置等、積極的な活動を行ってきました。

(産業祭りでの広報ブース)



(大学祭での体力測定会の様子)



### 4) 学生との交流

2017年4月本学スポーツ科学部が設置されたことに伴い、学生とクラブとの交流の機会が持てるよう、既存の教室に加え、スナッグゴルフサークルの指導に本学ゴルフ部がサポートとして加わり、新たに陸上競技部が中心となり「美浜ランニングスクール」を開講しました。

### ①キッズウエルネス講座

クラブ設立当初から実施している幼年期対象の教室です。子ども発達学部山本ゼミの学生が教室運営のサポートをしてくれています。



### ②ボッチャ de 健康サークル

毎週水曜日のお昼休みに町民の皆さんが集まるサークルです。本学スポーツ科学部導入ゼミが企画した「ボッチャ大会」にゲストとして出場しました。



### ③スナッグゴルフサークル

新南愛知カントリークラブで実施している小学生対象のスナッグゴルフサークルです。2017 年度後期から本学ゴルフ部がサポートしてくれています。



### ④美浜ランニングスクール

2017 年 9 月から新たに開講したランニングスクールです。本学陸上競技部が中心となって、練習メニューの作成から指導まで担当してくれています。



2018 年度は、新たにスポーツ科学部 2 年生の必修授業「スポーツフィールドワーク I」が始まります。多くの学生がみはまスポーツクラブの会員のみなさまである地域の人々と交流する機会が生まれることとなります。地域の人々と学生が共にスポーツ・文化を通じて、幸せを感じられる町みはまを創るために、スポーツ科学センターとして支援できることを今後も探求していきたいと思います。(文責：植田真帆)

## 5. 水中運動教室

講師:スポーツ科学センター 助教 坂口結子

教室内容:水を利用した運動を楽しみながら、転倒予防のための基礎体力を身に付ける

実施日:2018年2月6日(火)・9日(金)・13日(火)・16日(金)の4日間

時間:11時から12時30分

対象:みはまスポーツクラブに所属する50歳以上の健康な男性・女性(泳力は問わない)

参加費:保険代として200円を徴収

総評:

### 【募集について】

今年度初めての企画として水中運動教室を4日間開催で行った。みはまスポーツクラブに所属する方と限定し15名の参加者が集まった。年齢は50代から70代後半までと幅広い参加者となった。ただし、今回は広報がいきわたっていなかったことが課題として挙げられた。

### 【教室内容について】

今年度は水中ウォーキングや水中での軽い筋力トレーニングを中心として行った。水中ウォーキングでは、仲間意識をもって楽しく取り組めるよう工夫した。今までは違う教室に参加し、顔を合わせたことがない方とコミュニケーションを取ることができた。また、軽い筋力トレーニングではジョイポールの利用など、陸ではできない水を使ったトレーニングを心掛けた。アンケート結果より強度について、ちょうどよかったという意見は多かったが、少し物足りない方や強度が高すぎてついていけなかったという意見もあった。今後は、細分化して行うことで、参加者のニーズに合った教室が行えるのではないかと考える。

| 日程       | 実施内容   |
|----------|--|
| 3月6日(火)  | 水中ウォーキング(もも上げ、大股歩き、ダッシュなど)<br>グループワーク(じゃんけんランニング、手をつないでビート板運び)<br>アクアダンス(基礎の動き)                            |
| 3月9日(金)  | 水中ウォーキング(個人メドレーをイメージし、ダッシュを交えて)<br>グループワーク(参加者は縦につながりホイッスルの数で動きを変えるなど)<br>アクアダンス(BPM110で軽有酸素運動)            |
| 3月13日(火) | 水中ウォーキング(前後・クロスでのかかと・つま先タッチ、ジョイポールを利用してウォーキング)<br>グループワーク(ジョイポールを利用して、ダッシュなど)<br>アクアダンス(ジョイポールを利用し、2人組で行う) |
| 3月16日(金) | 水中ウォーキング(もも上げ、膝と肘のクロスタッチなど)<br>グループワーク(全員で水を利用した筋力トレーニング)<br>アクアダンス(円になって同じ動きでルーティンし、途中でグループ替えを行う)         |



写真 教室風景

#### 【Inbody の測定について】

4回の教室参加前に、Inbody(インボディー・ジャパン株式会社)の測定を行った。多くの方が自分の身体に興味をもていただくきっかけとなった。4回の運動では大きな変化が見込まれないため、教室前だけの測定を予定していたが、教室終了後も測定の要望があったため対応した。

#### 【まとめ】

今回は教室前に血圧の測定を行った。収縮時血圧が180mmHgを超えてしまっている方が何名かいらっしゃったため、教室の参加について議論がなされた。今後、教室を開く時には、このようなことがあった場合、どのように対処するかをはじめから検討しておく必要があると感じた。教室内では、はじめよそよそしい感じが見受けられたものの、回を重ねるごとにコミュニケーションを自然と取れるようになっていった。また、運動中も笑顔が絶えない教室を行うことができた。さらに、水中運動教室で友達になった方に誘われて、みはまスポーツクラブの他の教室にも参加し始めたとの話を聞いている。教室を通じて、新たなことに挑戦するきっかけともなったようである。教室運営・実施を含め、スポーツ科学センターとして、よい経験ができたのではないかと感じた。(文責 坂口結子)

## 6. その他

### 1) ベテランズ国際柔道大会に出場して

2017年、和歌山県でベテランズ国際柔道大会が開催されました。引っ越したばかりの愛知県で女子柔道仲間を集め、団体戦にエントリーしました。「故郷の国際大会でメダル獲得」という目標を掲げて申し込んだものの、試合なんて数年ぶり。「ケガだけはしないように」とまずは体づくりを始め、少しずつ稽古しましたが、練習相手もままならず、長年のデスクワークで不摂生し続けた身体はなかなか思い通りには動いてくれませんでした。

今大会を通じて、私は2つの柔道の魅力を再確認することができたと思っています。一つは、弱い自分自身と向き合う「勇気」。試合前には、周りの選手がみんな自分よりも強そうに見えて、その場から逃げ出したいくなります。それでも「勇気」を振り絞って試合場に入って一礼し、左足から一歩前に出た瞬間、なんだか勝てそうな気がして、「よし、こいつ」と相手に立ち向かっていく。年齢を重ねるごとに色々なことから逃げることはばかり覚えてきた私にとって、試合前の不安や緊張を乗り越え「勇気」を振り絞って立ち向かっていくことができたこの経験は、とても新鮮で心地よいものでした。

二つ目は、柔道を通じてつながる多くの「仲間」。生まれ育った故郷で開催される本大会では、運営や審判として、多くの地元の先生方や生徒が支えてくださいました。試合中、聞こえてくる「真帆、がんばれ!」「先生、ファイト!!」という声援に後押しされ、金メダルを獲得することができました。また、新しい「仲間」との出会いもありました。1回戦で対戦したチームの方々と名刺交換したことがきっかけで、講道館の稽古に誘っていただき、先日一緒に汗を流してきました。このように対戦相手との交流が深まることも、この大会の大きな魅力であると思います。

「柔道の修行者は、おのこの社会に対して大使命を有するのであるということを感じ 精力善用・自他共栄の精神を その身に実行してもらいたい」(「柔道の使命を論じて修行者の融和結束を望む」『柔道』第2巻第10号(昭和6年)より)

これからも精力善用・自他共栄の精神を実行すべく、使命感をもって柔道修行に努めて参ります。今大会の出場にあたり、一緒に出場してくれた仲間、和歌山県の先生方、金メダルをお祝いして下さった大学の先生方、多くの皆さまに支えていただきました。柔道を「する」「みる」「支える」素晴らしい大会に出場できたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。(植田)



## 2) SALTO 柿落とし (バスケットボールイベント)

### 概 要

2017年度4月にスポーツ科学部棟として完成した「Sports Lab SALTO」の柿落としを同年5月に行った。本学の特別強化指定部 A である女子バスケットボール部によるバスケットボールクリニック及び常葉大学を招いての招待試合を実施した。

### 日 時

2017年5月20日(土)

### 内 容

- ①美浜ミニバスケットボールクラブへのクリニック
- ②招待試合：日本福祉大学 VS 常葉大学 (女子バスケットボール部)

### 場 所

SALTO スポーツ演習室

### イベントの詳細

#### 【バスケットボールクリニック】

地元美浜町の小学生と本学の女子バスケットボール部員の交流は初めてということもあり、最初はお互いに遠慮気味であった。しかし、バスケットボールを通して徐々に打ち解けていき、最後のミニゲームでは笑顔が絶えず、自然とハイタッチする姿や応援する姿が見られ、小学生本来の元気よさに学生もパワーをもらっていた。また、学生も指導することでバスケットボールの楽しさを改めて実感しているようであった。

#### 【招待試合】

東海学生リーグ2部に所属する常葉大学を招き、フルゲームを行った。接戦の末、本学63-60常葉大学で本学女子バスケットボール部が勝利した。試合後は、お互いの健闘を称え、一緒に写真撮影を行った。

イベントの様子 (写真)



日本福祉大学スポーツ科学センター年報 第2号  
平成29年度(2017)

---

平成30年5月発行

スポーツ科学センター関係教員 吉田文久(センター長:スポーツ科学部 教授)  
植田真帆(スポーツ科学センター 助教)  
坂口結子(スポーツ科学センター 助教)  
中尾 綾(スポーツ科学センター 助教)  
編集責任 中尾 綾

日本福祉大学スポーツ科学センター 〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6  
日本福祉大学 Sport Lab SALTO 3階  
TEL: 0569-87-2396  
FAX: 0569-87-2291  
E-Mail: sports-edu-office@ml.n-fukushi.ac.jp

---





